

教育レポート 全国学力・学習状況調査

小中の全科目が全国超え 学力定着、確かなものに

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果を分析しました。学力調査では、国が想定する学力の定着を確認する問題などで、高い正答率を得て、全国の平均点を上回りました。 005061
 問合せ 教育センター／Tel675-0398

全国学力・学習状況調査とは
 全国の小学6年生と中学3年生を対象に行う調査です。今年度は国語、算数・数学の学力調査と、学習や生活に関わる状況について質問紙調査を実施しました。
 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止

学力調査

今年も好成績をキープ

小学校 3年連続で全国平均超え

国語、算数ともに全国平均（右図）を超えました。特に算数の成績が良好で、全国との差を広げています。児童全体の学力定着の目安となる問題（下欄）では、90%近い正答率となっています。

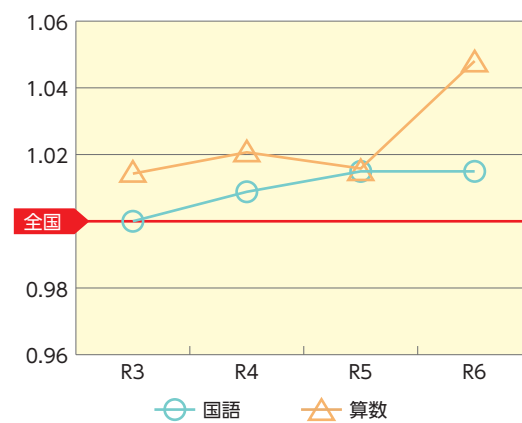
国語

問題 メモの内容を読み、適切な選択肢を選ぶ問題
 正答率 88.3% (全国86.9%、府85.5%)
 評価 情報と情報との関係付けの仕方などを理解し使える力が身に付いています

算数

問題 折り紙の枚数を求める正しい式を選ぶ問題
 正答率 88.2% (全国88.5%、府88.1%)
 評価 数量の関係を、記号を用いて式に表す力が身に付いています

全国を1.0とした経年比較（小学校）



教科別正答率 ※カッコは全国平均
国語 69 (68) **算数 66 (63)**

中学校 4年連続で全国平均超え

国語、数学ともに全国平均（右図）を超え、高水準の成績を保っています。生徒全体の学力定着の目安となる問題（下欄）でも、高い正答率を得ています。

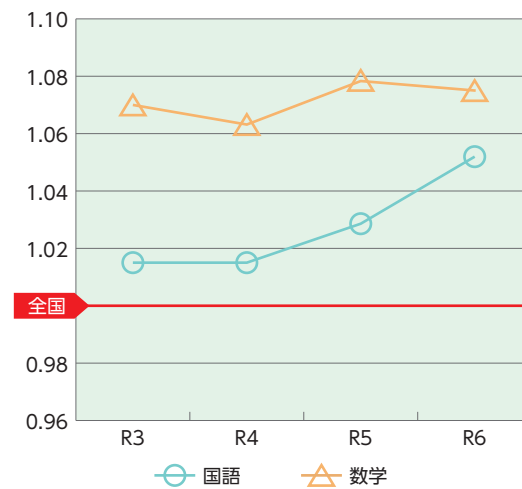
国語

問題 物語を書くための構想をどのように整理したかについて、適切な選択肢を選ぶ問題
 正答率 82.7% (全国81.4%、府79.9%)
 評価 集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にできるようになっています

数学

問題 図上に並ぶ整数の規則を理解し、加法で計算する問題
 正答率 92.0% (全国90.2%、府89.3%)
 評価 設定場面を明確に捉え、正と負の数の計算ができるようになっています

全国を1.0とした経年比較（中学校）



教科別正答率 ※カッコは全国平均
国語 61 (58) **数学 57 (53)**

学習状況調査

自分で考えられる児童生徒が増加

自分で考え、自分から取り組む 80%超え

課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると感じている児童生徒の割合が80%を超えました。この8年間、上昇傾向となっています。

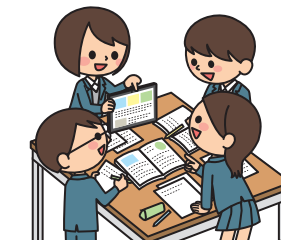
POINT 自分の考えを発表する機会では、資料や文章、話の組み立てなどを工夫できるようになっています。学校図書の実用や1人1台端末を整備するなど、情報を活用する授業に取り組んだ成果が表れています。



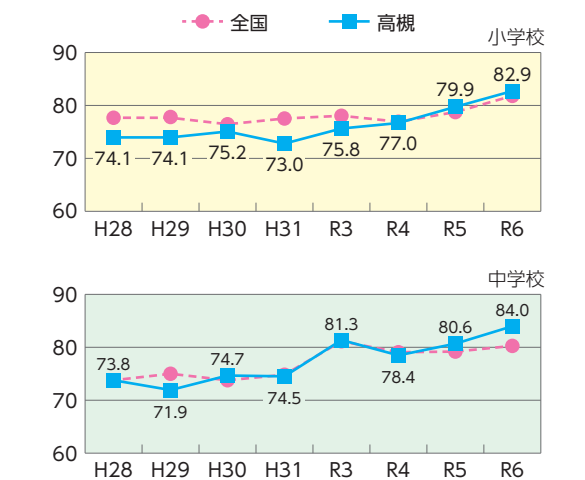
協力し合って、考えを深める 初の85%超え

友達と協力し合って学習を進め、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると感じている児童生徒の割合が、初めて85%を超えました。この10年間で20%以上の上昇が見られます。

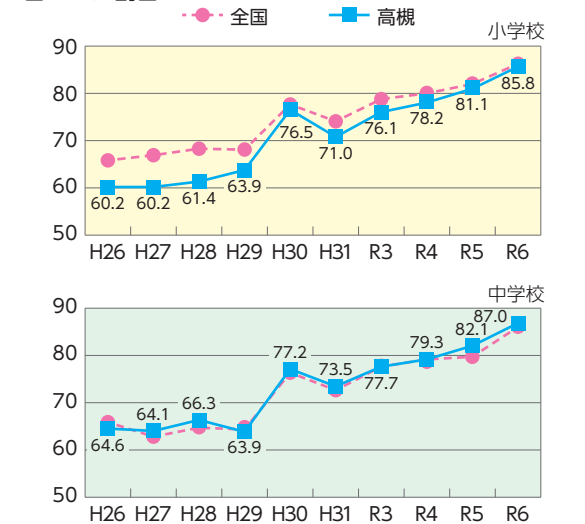
POINT 学習の課題に向き合い、仲間との対話や協働の中で学びを進め、自分の考えを深めることができていると思われます。学習指導要領で示されている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を各校で継続して取り組んだ成果が表れています。



「小学生は1～5年生、中学生は1・2年生に受けた授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」という質問に、肯定的な回答をした割合



「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」という質問に、肯定的な回答をした割合



⇒次ページでは調査結果の成果につながった取り組みの1つ「情報を活用する授業」を紹介します

課題を解決する力を育む 情報を活用する授業で

小中学校では、子どもたちが課題を解決するための力を育む授業に取り組んでいます。課題を解決するために図書資料やICT（インターネット）などで情報を集め、自分の考えをまとめる授業を研究している第六中学校の取り組みを紹介します。



第六中学校 教諭
鈴木智大さん

六中はモデル校として、さまざまな教科で学校図書やICTを使った授業に取り組んでいます。

生徒たちは、各授業の「めあて」と呼ばれる課題と向き合って調べ学習をします。信頼できる情報を見極め、活用する力を磨いています。



環境整備で学習意欲up

市は子どもたちが興味を持って学習できる環境を整え、主体的で意欲的な学習活動につなげています。

学校図書シン100万冊計画

市内には、利用可能な学校図書が100万冊あります。新たな計画では、令和8年度までに20万冊を更新。最新情報が必要な自然科学や産業分野などの図書の充実を進めています。



GIGAスクール構想

1人1台のICT機器を整備することで、インターネットでの検索をはじめ、端末上での意見交換や課題提出などを可能にしています。



国語の授業で、歴史を調べ作者の思いを探る

例えば3年生の国語の授業では、魯迅（ろじん）の「故郷」を読み、読解だけでは見えてこない、作品に込められた作者の思いを読み取ることを課題にしました。

最初、生徒たちは、作者は「国の未来を憂いている」と考えましたが、歴史の授業も振り返って、当

時の社会背景を調べてみることに。

図書資料でポイントとなる情報を集め、ICTを使って当時の出来事を深掘りしました。物語と突き合わせると、実は作者は「未来に希望を持ち、自ら行動するために作品を書いた」という真意を知ることができました。

授業のイメージ

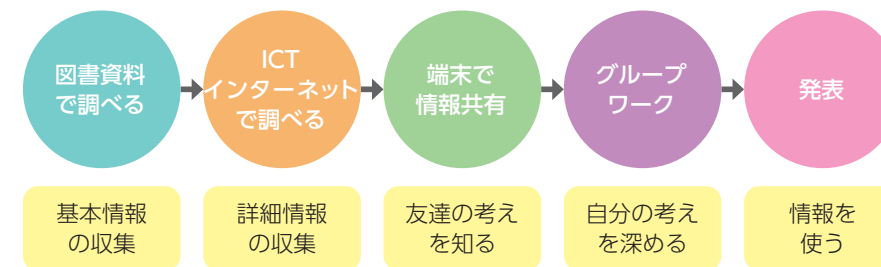


図 書資料を使って、中国の社会・政治・思想・人々の暮らしなどの基本的な情報を収集しました。



最初に調べるのは図書資料

図書資料は内容がまとまっていて、情報も信頼できます。授業以外でもたくさん借りるので身近な情報です。

野原唯央さん

I CTを使って、当時の戦争や事件の詳細な資料を読み、画像などを見て知識を増やしました。



インターネットで理解が深まる

インターネットは、画像情報などが豊富。難しいことも、視覚情報で分かりやすく、理解が深まります。

小山快莉さん

考 えがまとまったら、端末に入力してクラスメートと共有。各自が友達のを参考にしました。



友達の考えも大切な情報

端末上なら、物静かな友達の考えも知ることができます。いつでも見られて、いろんな発見があります。

末益陸哉さん

グ ループに別れ、友達と意見交換。自分の考えに対して、視点の違う意見をもらいました。



グループワークで考えが広がる

グループワークでは意見がたくさんもらえます。そこから、自分の考えを広げられるのが良いところです。

井上竜登さん

発 表は、画像やグラフなどを入れて説明。事前に集めた情報を発表資料にうまく取り入れました。



イメージしやすい情報が大切

発表のときは、分かりやすい画像を探し、工夫します。みんなの顔を見て、理解していたらうれしいです。

長峯柁那さん

興味を持って学び 生涯学び続ける力を

市では、子どもたちが、興味を持って学びたい授業や教育の環境づくりに取り組んでいます。今回の全国学力・学習状況調査でも取り組みの成果が表れていました。本を読んだり、調べたりすることが当たり前になり、生涯にわたって学び続けられる力を育てたいです。



教育指導課
誠光俊明さん